

01 総務部

02 開発建設部

03 財務部

04 運輸部

02 開発建設部

仕事の

窓

Point

「平良港トウリバー地区整備事業」における環境保全・創造の取り組みが土木学会に評価され、「平成17年度土木学会環境賞・グループ環境保全・創造に貢献した画期的なプロジェクトに授与」を受賞しました。

# 平良港トウリバー地区が 土木学会環境賞を受賞

「トウリバー地区の自然海岸の保全・活用とサンゴ移植による環境創造」



トウリバー地区全景

本事業は、沖縄県のリゾート計画に対応した海洋性レクリエーション拠点の整備を目的とした「平良港T・スタイルリゾート計画」として平成5年度より宮古島市（旧平良市）と国が協力して整備を進めています。整備にあたっては、市民が海と触れ合う快適で潤いのある空間を創造するため、以下の取り組みを行っています。

## 自然環境の保全・創造の取り組み

群体の一部をトウリバー地区の親水防波堤に移植することにより、サンゴの保全と移植先での新たな環境創造を図っており、移植サンゴのみならず自然着床したサンゴも増加しています。自然石の使用によるサンゴ等の着床促進

親水護岸・防波堤の被覆石には、サンゴ等の海生生物が着床しやすいように多孔質な琉球石灰岩を使用しています。

人工海浜（養浜）による藻場の再生

人工海浜の沖側に高密度の藻場があり、整備にあたって濁り等環境に配慮して施工した

結果、これら周辺の藻場が健全に保全され、人工海浜でも早期に藻場が再生しています。人工海浜の自然環境の活用

人工海浜に再生したアマモ場は、水際線の近くまで良好な藻場が形成されています。安全に生物観察・採集ができるため生物観察会に適しており、地元小中学生を対象にした生物観察会を試験的に実施しました。

自然環境の活用

自然環境の保全・創出

環境保全及び水辺の特性を活かした景観形成や親水性を確保するため、既存の海岸線と埋立地の間に水路を設ける出島方式」とし、自然海岸を保全しました。

サンゴ移植による自然環境の保全・創出

防波堤建設で消滅するサンゴ



水路を活用した自然体験学習



表彰状とトロフィー



サンゴ群体の移植状況